

Community Learning Centers of Okayama

岡山の公民館

No.58

〒700-0016 岡山市北区伊島町3-1-1 岡山県生涯学習センター内
電話 086-251-9751 FAX 086-251-9757
ホームページ【<http://www.pal.pref.okayama.jp/kenkouren/>】



平成30年3月 編集発行 岡山県公民館連合会

平成30年度 主な行事予定

- 平成30年度岡山県公民館連合会理事会・総会・第1回研修会（館長研修会）
日にち：平成30年5月15日（火）
場 所：岡山県生涯学習センター 大研修室 他
- 第40回全国公民館研究集会 東京大会
日にち：平成30年11月1日（木）、2日（金）
場 所：日本青年館



備中
ブロック

倉敷市玉島公民館
「サンセットヨガ〜インド音楽の生演奏とともに〜」



美作
ブロック

津山市中央公民館
「お父さんのためのベビーマッサージ教室」



備前
ブロック

和気町中央公民館
「お花職人さんに学ぶ フラワーアレンジメント教室」

公民館記章



このシンボルマークは、公民館の「公」の字を図案化し、しかも、全体の形を「館」になぞらえたものである。

昭和53年 4月1日 制定
昭和35年10月1日 適及適用

Index

各ブロックから・主な行事予定	1
提言・平成29年度表彰	2
平成29年度岡山県公民館連合会事業実績	3
第1回 公民館職員が選ぶ！講座アワード	4、5
第29回全国公民館セミナーに参加して	5
「平成29年度 公民館『地域のつながりづくり』実証プログラム事業」事業報告会	6
公民館ひと・ひと・グループ	7
まちからむらからフォトター	8

「地方創生を支える公民館」



岡山県教育庁生涯学習課長 石本 康一郎

本県の人口は、平成17年をピークに減少しており、少子化や高齢化が一層進むとともに、価値観やライフスタイルの多様化、人や地域のつながりの希薄化等により、各地域では様々な構造的課題が顕在化してきています。

今後、持続的な地域づくりを進めていくには、「地域の子どもは地域で育てる」「自らの地域は自らでつくる」といった意識を持ち、県民一人ひとりが、地域社会の担い手として主体的に参画しながら、互いに支え合い、協力し合っていくことが重要であり、さらに地域の将来を担う若者の人材育成も不可欠です。

岡山県教育委員会では、中学生や高校生が、公民館を拠点に地域住民や企業、NPO等の多様な主体と連携し、地域課題の解決やまちづくりに取り組む「中高生が活躍！おかやま創生を支える人づくり推進事業」を実施しており、今年度は中山間地域の7市町で10の事業を行いました。中高生に地域への愛着や当事者意識が生まれるとともに、子どもたちの活動に影響を受け、地域づくり活動が活発化するなど、公民館を拠点とした地方創生が徐々に動き出してきています。

平成30年度は事業対象を全県下に広げ実施することとしていますので、積極的に取り組んでいただきますようお願いします。

学習や交流の場としての役割を担ってきた公民館への期待は大きく、その可能性も多様化してきています。地域住民が明るい未来を生きていくために、県内に約400ある公民館が拠点となり、地域の絆づくりや活力あるコミュニティの形成などの地域課題改善に向け、地域住民の学びと活動の場としての役割を十分果たすことができるよう、大いに期待しています。

輝く平成29年度 表彰

文部科学大臣表彰 優良公民館

○津山市院庄公民館

地域ぐるみで子どもたちを支援する体制づくりを中心となって行っており、子どもたちの心や生活の安定が図られ、地域の子どもの健全育成に大いに貢献している。

「幼稚園昔遊び交流会」「小学生茶華道教室」「中学生と話す会」等、学校や家庭、地域が連携した多様な事業を公民館がコーディネートし、子どもを支援する事業の充実や支援体制の強化を図っている。

さらに、地域ボランティアが小学生に学習支援やものづくり体験等を行う「夏休みわくわく教室」を実施し、地域をあげて子どもたちを育てる雰囲気づくりを進めるとともに、子どもたちと地域住民が交流を深め、世代間をつなぐ場を創出する役割も果たしている。

○赤磐市立中央公民館

地域住民がつながり合う拠点として、世代間の交流や若者と地域がつながる様々な事業を実施し、持続的な地域づくりや人づくりに積極的に取り組んでおり、この取組は市内の他の公民館に普及している。

中学生ボランティアが、「公民館まつり」等を企画・運営・事業化させる事業に取り組み、若者が地域で活躍できる場を創出し、住民と連携して地域を支える若者の育成を推進している。

また、孫育世代も参加している「子育て講座」や、大学生が小学生の学習支援を行う「宿題応援隊」など、世代を超えた相互交流や学習の機会を提供し、学びを通じて幅広い年齢層が交流し、絆を深めており、地域のつながりや地域力の向上に大きく貢献している。

全国公民館連合会表彰(8名)

【永年勤続職員表彰】

桑 恵里(岡山市立吉備公民館 主任)
近藤 ゆみ(岡山市立高松公民館 主任)
長崎 百絵(岡山市立東公民館 主任)
福田 京子(岡山市立万富公民館 事務嘱託)

内田 由美子(津山市中央公民館 非常勤嘱託員)
河田 達夫(笠岡市高島公民館 館長)
前峠 春美(笠岡市神島外公民館 主事)
糸島 信夫(総社市西公民館 秦分館 分館主事)

岡山県公民館連合会表彰(15名)

【優良職員表彰】

藤田 友望(岡山市立操南公民館 主任)
小谷 文子(岡山市立岡西公民館 事務嘱託)
高森 望(岡山市立中央公民館 事務嘱託)
西村 正美(岡山市立京山公民館 事務嘱託)
福田 敏子(岡山市立高松公民館 事務嘱託)
明樂 加奈(岡山市立御津公民館 事務嘱託)
高木 由美子(前 笠岡市新山公民館 主事)
山口 晋作(備前市立日生地域公民館 館長)

丹羽 弘子(備前市立中央公民館 主査)
妹尾 育子(前 矢掛町小田公民館 主事補)
岩佐 晋正(鏡野町立富公民館 館長)
皆越 千津子(鏡野町立上齋原公民館 館長)
石坂 陽子(吉備中央町御北公民館 主事)
粒田 美和子(吉備中央町豊野公民館 主事)
山口 すみれ(吉備中央町津賀公民館 主事)
(敬称略・順不同)

【感謝状】 岡本 啓(吉備高原のびのび小学校・吉備高原希望中学校 学園長)

平成29年度 岡山県公民館連合会事業実績

平成29年度 理事会・総会・第1回研修会

開催日／平成29年5月25日(木) 場所／岡山県生涯学習センター

【理事会・総会の内容】 ●平成28年度事業報告・決算報告及び監査報告
●平成29年度事業計画(案)及び予算(案) 他

【研修会】 ●講義／「これまでの公民館とこれからの公民館」
講師／東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤 氏



第2回研修会 (兼：社会教育施設職員等研修会)

【県北会場】開催日 平成29年6月8日(木) 場所／津山市東公民館

【県南会場】開催日 平成29年6月13日(火) 場所／総社市山手公民館

【内 容】 ●講義・演習／「行列ができる講座と思わず手に取るチラシの作り方」
講師／講座企画塾 吉田 清彦 氏

地域住民のニーズに沿いながら地域の課題解決につながる講座を企画立案し、講座のねらいを効果的に伝えるためのテクニックについて学びました。また、広報の仕方についてのお話もあり、現場での課題に即した有意義な研修会となりました。



第3回研修会(館長研修会)

【備中会場】開催日 平成29年7月14日(金) 場所／総社市昭和公民館

【備前会場】開催日 平成29年7月21日(金) 場所／県生涯学習センター

【美作会場】開催日 平成29年7月28日(金) 場所／津山市中央公民館

【内 容】 ●講義／「考えよう!地域に必要なとされる公民館」
●演習／「『ひと』がつながる」

講師／島根県教育庁社会教育課 グループリーダー 横田 康 氏
島根県益田市教育委員会 ひとつづくり推進監 大畑 伸幸 氏
大田市中央公民館 館長 岩根 了達 氏
益田市豊川公民館 館長 田原 輝美 氏

島根の流儀(集まって→楽しんで→学んで→動いて→変えていく)は、社会教育の原点を考えるきっかけになりました。そして、講座そのものを目的とするのではなく、「人づくり」となっていくための講座のイメージをもつことができました。また、館長さん同士のネットワークづくりや情報交換はこれからの業務の財産となることと思います。



第4回研修会 (兼：みんな集まれ! 社会教育宿泊研修)

開催日／平成29年9月12日(火)～13日(水) 場所／国立吉備青少年自然の家

【内 容】 ●講義・演習／「学校支援、放課後・土曜日支援、家庭教育支援等」

講師／岡山大学全学教育・学生支援機構 准教授 中山 芳一 氏 他9名

小学校の放課後のコーディネーターや中高生の社会参画、就学前の子どもをもつ親を対象とした講座、防災や野外で使えるクッキングなど、多岐に渡るテーマの中から地域の課題に応じて学びました。また、宿泊を通して互いのつながりもさらに深くなりました。

第5回研修会

開催日／平成29年12月7日(木) 場所／岡山県生涯学習センター

【内 容】 ●講義・演習／「ファシリテーション講座～多様な主体と話し合う～」

講師／NPO法人岡山NPOセンター 副代表理事 石原 達也 氏

講義と実践を繰り返し、実感をとめないながら効果的な話し合いの持ち方を考え、スキルの習得を行うことができました。今後、地域での会合、イベントの振り返り、普段の会議など様々な場面での話し合いの質の向上が期待されます。



第6回研修会

開催日／平成30年1月26日(金) 場所／岡山県生涯学習センター

【内 容】 ●報告／「平成29年度公民館『地域のつながりづくり』実証プログラム事業」
事業報告会 詳細は、P6

●発表／「平成30年度地域の課題解決に向けた『地域のつながりづくり』公民館・学生協働プロジェクト」
プレゼンテーション大会

●表彰／「第1回公民館職員が選ぶ!講座アワード」表彰式
詳細は、P4・5

持ち時間の10分間で、熱意にあふれるプレゼンが行われました。会終了後、モデル公民館選定委員会による審査会が開催され、次の2公民館が選定されました。

- ・岡山市立光南台公民館
- ・笠岡市新山公民館



第1回 公民館職員が選ぶ！講座アワード

本年度から始まりました「公民館職員が選ぶ講座アワード」は、県公連の事業方針1(5)にあります「特色ある活動事例の紹介や、公民館相互の交流により、取組の改善・見直しを促進し、公民館の存在意義を高める。」に向けた取組の1つとして、他の公民館の取組を知ったり、刺激をもらったりしながら、互いにモチベーションを高め、各館の講座内容の向上につながる場になればと開催しています。

第1回の本年度、皆様にお声かけをさせていただいたところ、「各館のおすすめの講座」の提供をいただいた138館の中から48館がアワードにご応募をいただきました。本当にありがとうございました。

参加者の方からも「自分の市以外の公民館の特色ある講座の様子がよく分かった。他館の取組を知ることで、よい刺激を受けた。来年度に向けて新しいアイデアが湧いてきた。」というご感想をいただきました。これからもこのアワードを岡山県公民館関係者で力を合わせて「情報交換の場」「アイデアの泉」として温めていけたらと思っています。

来年度も5月に「講座アワード」のご案内をいたしますので、ぜひ御参加ください!!



参加記念バッジ

グランプリ 「国際料理講座」 倉敷市児島公民館 (25票)

【投票理由】

- 倉敷児島地区6館の協力体制の構築、横のつながりの強さ。これからの国際社会の中で、他国の方々との交流が図れるという事は素晴らしいことであり大人だけでなく、子どもたちにもよい経験をさせていること。
- 「G7倉敷市教育大臣会合」で採択された「倉敷宣言」をどう地域で広げていくかを考えて、食をテーマに国際理解の事業を実施している。また、リレー形式で地区内の各公民館を会場に実施していることは、地区での一体感を高め、そして様々な人と人がつながる可能性があり、多文化共生を進めていく上で効果的だと感じた。このたびの成果をどう発展させていくか、今後の事業展開に興味をもった。
- 受講生にとっても普段利用している館ではない他の館を知る機会となり、新たな学びの場に触れるきっかけとなり得るところ。
- ひとつの公民館でシリーズものの講座をするケースは多いと思うが、市の一部の地区5か所のリレー方式、かつ、多国籍なところは地域性を生かして楽しそうである。あまり外国に興味のない人にも、『食』という身近な部分で交流ができ、国際理解へのよいきっかけとなったのではないかなと思われるため。
- 外国人講師による国際料理講座は楽しく参加でき、国際理解・交流につなげやすい企画だと思う。地域連携講座としても、リレー形式での実施は一体感が生まれ、有意義な企画だと思う。



準グランプリ 「ちちとこくらぶ」 岡山市立吉備公民館 (16票)

【投票理由】

- 子育て世代の男性がたくさん参加されている講座はめずらしく、なかなか成功しないのが現実だが、「講座」という枠を超えて地域の活性化につながる素晴らしい活動にもなっている。「お母さんが少し息抜きができる時間を」という気持ちが子育てをしているお母さんたちにとってもうれしい講座である。こういう講座がどんどん広まればいいなという思いで選んだ!!
- お父さんたちが主体的に企画し、運営していくそのしくみづくりを公民館がサポートしているところが優れていると思った。
- 地域活動や公民館に疎遠な(参加しにくい)働く世代の人たちが、つながりあう場になっている。公民館や地域と関わることによって、親子共に楽しいことを通して地域の中でのつながりができ、地域での居場所・活躍の場づくりができています。今後の活動の広がりにも期待もでき、次世代の担い手づくりにもつながれるのではと感じた。
- 普段なかなか遊べないお父さんと一緒にいろんな体験ができて、子どもたちも楽しいと思います。また、企画・運営を通して、お父さんたちはもちろん、地域の方たちとの交流も広がり地域の活性化にもつながっていくと思った。
- 公民館側だけでなく、参加者自身が主体となって企画、実施している点。これは当館が親子講座を企画する上で目標としていることである。また、講座を通して、地域の人とつながり、交流する機会となっており、人と人をつなぐという公民館の役割を果たしている。そして、まだまだ子育てに参加しづらい父親が対象であり、この講座を通じて、父と子のふれあう時間がより濃密なものになる。



第3位 「新発見!海から見る絶景水島コンビナート」 倉敷市福田公民館 (12票)

【投票理由】

- 地域の高校生にボランティアガイドを依頼し、高校生・地域の団体・公民館が連携して講座を企画し、実施している。また、地域の良さや特色を再発見する講座となっているから。
- 地域のよさを再確認するとともに、地域を愛し、地域の産業に誇りをもつことができる。地域の未来を築いていこうとする思いを一層強くすることができる講座となっているから。
- 地域の高校生がボランティアガイドとして企画へ参加していること。また、水島コンビナートの現状と船上から見る運搬船の迫力を味わえる講座内容が魅力的だった。
- 高校生がボランティアガイドとして、参加しており、本市では中学生、高校生の職業体験として、公民館業務などを体験する機会はあるが、実際の公民館活動事業において、高校生ボランティアの実例がなく、今後、人材育成等の関連で取り入れることも参考とさせていただきたい。また、公民館施設内だけでなく、海岸部だからできる地域資源を活用・体験する講座として、非常に面白い。
- 地元の知られざる魅力を発掘し広める、地域おこしの土台への視点を見習いたい。



※受賞されました3館及び他45館の実践報告は、岡山県公民館連合会のHP[<http://www.pal.pref.okayama.jp/kenkouren/>]からご覧いただけます。



～「公民館職員が選ぶ！講座アワード」への参加公民館へ～

モデル公民館選定委員のお二人に、各公民館の実践報告をご覧になった感想をうかがったところ、受賞公民館以外の取組も大変すばらしかったということで、コメントをいただきました。

岡山大学教育学研究科 教授 熊谷 慎之輔 氏



講座アワードで表彰された公民館以外にも、示唆的で興味深い講座も多数みられました。まず、岡山市立岡南公民館、富山公民館、芳田公民館、岡輝公民館、津山市立高倉公民館、真庭市立久世公民館、勝央町公民館などのように、地域で中高生の「出番と役割と立場」をつくる講座が目を引きました。これらの公民館では、中高生を学習の受け手としてだけでなく、地域を担う未来のパートナーとして捉え、講座が企画されていました。

もう一点は、岡山市立中央公民館、光南台公民館、倉敷市立水島公民館、赤磐市立中央公民館などのように、地域課題や現代的課題に切り込み、その解決をねらいとした講座があげられます。なかでも、岡山市立中央公民館の「ゆとり世代のためのコミュニケーション講座」は、現代的な課題に迫るだけでなく、公民館参加者の裾野をひろげる意味でも興味深いです。もちろん、公民館で楽しく学ぶことは大切であるが、上述した「中高生の参加・参画」や「地域課題・現代的課題の解決」をねらいとした講座の企画・実施は、これからの公民館において、ますます重要になってくると思います。

香川大学生涯学習教育研究センター 准教授 山本 珠美 氏



公民館に10代後半～20代が来ないということは言われて久しいですが、水島公民館の「若者から発信!自然環境のために出来ること～瀬戸内海からこんなゴミが出てきました～」や、勝央町公民館の「青少年カタルバ事業」は、興味深い取組であると思いました。一方は、海ゴミという地域課題を考える「王道」事業であり、もう一方は公民館のロビーを若者の手で改装するという「手作り」事業ですが、地域の主人公として「自分たちのできることは何かを考え実行する」取組であり、高く評価できるのではないかと思います。

第29回全国公民館セミナーに参加して

平成30年1月31日(水)～2月2日(金)の3日間、国立オリンピック青少年記念センターにて開催された「第29回全国公民館セミナー」に参加されたお二方の感想を紹介します。

◆笠岡市中央公民館 館長 小寺 隆雄

初日のスペシャル座談会では、『笠岡市産業振興ビジョン』の策定に関わってくださった、山崎亮さんの歯に衣着せぬ小気味よい発言を聞いて、やっぱりすばらしい人だなあと感心しました。2日目の「自分たちの公民館ものがたりをつくる」というワークショップで、グループごとに90秒間の映画づくりを行いました。自分たちで映画が作れるのか不安でしたが、7人が協力することによって完成させることができました。出来栄はともかく達成感を味わうことができました。今回の貴重な研修成果を生かして、これからも人と人とのつながりを大切に、公民館を起点として新しい地域づくり・まちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

◆西粟倉村教育委員会 主事 白岩 将伍

セミナーでは、時代背景の中でコミュニティが変化し、公民館の在り方も変化してきたことを知り、この先の時代に合わせた公民館の在り方を考える機会となりました。今後やってくるコワーキングスペースを始めとする「シェアリングエコノミー」の時代の中で個人と個人の関係性を作り、喜びをシェアする役割を担う場が公民館であると感じました。しかし、公民館がやりたいことをやるのではなく、何かをやりたい人を支え、選ばれる公民館でありたいと思いました。

『平成29年度 公民館『地域のつながりづくり』 実証プログラム事業』 事業報告会

公民館を拠点とした「地域のつながりづくり」の具体的な取組の様子や成果等について紹介していただきました。公民館が地域と密接なつながりをもった拠点となれることを実証していただいた平成29年度モデル公民館のみなさんに、参加者から盛大な拍手が送られました。

事業報告を行った実行委員会（公民館）

【星空ミュージックカフェ実行委員会(美作市大原公民館)】

『3年目に向けての挑戦!星空ミュージックカフェ!』

- 【工夫点】
- 協賛企業の増加を図るため、実行委員会で割り振りして企業訪問等を行った。
 - 地域住民参加型を目指している観点から、公民館の生涯学習講座の子どもたちの学びの成果を披露できる場を設けた。(移動式ステージの新設置)
 - 入場券をうちわ型にし、指ぬき部分をフリードリンク、まんじゅうの引換券にした。また、協賛社名を記載することで、企業も含め地域一体となった事業であることを感じられるようにした。

- 【成果】
- この取組を通して、多くの団体と一つの方向に向かって結束することができた。また、様々な団体から実行委員を募ったことで、委員同士にも新たなつながりができ、一人の力では実現できなかった企画を実現するというケースも生まれた。
 - 子どもたちの発表の機会を設けたことにより、その親世代など、今まであまり公民館に足を向けたことがなかった方々が公民館活動に興味をもつきっかけとなった。
 - 音楽を通じて、子どもから大人までの幅広い世代が来場し、市民相互の交流が図られるとともに、地域文化に対する意識が高まった。また、参加者間で公民館講座の情報交換も行われ、他の講座に興味をもったり、参加したりする人が増え、公民館活動が活発になってきている。



【水島まち歩き探検隊実行委員会(倉敷市水島公民館)】

『水島まち歩き探検隊』

- 【工夫点】
- スタッフとして、中学生(子ども会ジュニアリーダー)と大学生が主体となり、まち歩きを実行した。中学生と大学生の視点で、まち歩きに必要な資料や、どんな目線でまちを見ていくのか気を付けることや、参加者(小学生)たちに役割を与え、何をさせたら良いのかなどを話し合っで決めた。
 - 参加した子どもたちと商店街の人が積極的に交流を深められるように、まち歩きしながらクリアー(達成)しないといけないミッション(お店のことについての質問等)を用意した。また、事前に商店街の協力店には、個別に訪問し、子どもたちへの対応の仕方や協力店ステッカーの掲示を依頼するなど、公民館と商店街のお店の人たちとのつながりを築いた。
 - 商店街がある地区だけでなく、いろいろな地区の子どもに参加してもらい、様々な目線でまち歩きが行われた。

- 【成果】
- 今回の事業の狙いであった商店街のひととの交流と商店街の魅力発見は、まち歩きを通して商店街に興味を持つ、きっかけづくりになった。
 - 小学生たちは、役割を与えられたことで、カメラマンは撮影のために、何気ないものにも興味をもつようになり、インタビューをする人は、店舗を訪れるたびに大人たちに自主的・積極的にインタビューできるようになった。この企画がなければ発見できなかった商店街の魅力を感じてくれた。
 - 今回の商店街との交流のほか、参加者同士もグループ内で協力してまち歩きをしたことで、小学生同士やサポートメンバーのジュニアリーダーである中学生や大学生たちとも交流が生まれた。さらに、協力してくれたサポートメンバーたちは、まち歩きに必要な物品を自ら考え作成したことで、創作力を養えた。公民館としても、地元の商店街とのつながりを深めることができた。



【藤田再発見☆プロジェクト実行委員会(岡山市立藤田公民館)】

『かるたを通じた郷土愛を継承していくづくり』

- 【工夫点】
- かるた制作は住民との話の中で決まった取組である。子どもを含めた公民館利用者へのアンケート調査や、既存の藤田に関する成果物を生かしながら、実際に地域を歩いたり、学習成果を生かしたワークショップを行ったりして、かるたに採用する事柄を選定した。
 - かるた制作の進捗を館報や館内での掲示、そしてフェイスブックにて発信し、地域住民の関心を高める。また、試作版が完成したら、公民館運営委員会やクラブ代表会などで体験会を行い、感想や指摘点を取り入れて改善を図ると同時にかるたに興味・関心をもってもらうようにした。
 - 制作段階や完成後の活用にあたって、制作メンバーの一人ひとりが役割を担い、得意なことでも力を発揮できるよう働きかけた。
 - かるたの場所を訪れたり、採用された事柄に因んだことを体験したり、その事柄の保存・活用方法を模索したりと、単にかるた遊びだけでなく、かるたを入口として新たなつながりを広げながら地域学習や地域活動につなげていく。

- 【成果】
- 制作にあたり、制作メンバーの他に高齢者、子ども、地区内外の方といった多様な主体が関わり、彼らの意見を取り入れる中で改めて地域の魅力に気づくことができ、写真撮影、解説文づくり、取材などメンバーの得意なことでも力を発揮して作ることができた。これまでに試作版を使った「お披露目会」や「かるたの場所を見に行こうウォーク」を実施しており、参加者から「こんなところがあることは知らなかった」とか「これは誇れるものだ」といった声があったり、「かるたで遊んだら藤田のことがわかるね」という感想もあつたりと、地域への愛着を深める機会になったように思う。藤田の未来を担っていく子どもたちへのアプローチとして、地区内の3小学校への贈呈式とかるた体験を予定しており、地域学習のツールとしてしっかり活用してもらい、「藤田が好き」という子どもが一人でも増えるようになればと願っている。
 - 完成後に予定していたかるたの題材を使った料理教室、地区別懇談会などいくつかの取組ができなかったため、次年度の実施に向け、調整をしているところである。また、お披露目会をしていく中で、新たにかかるたの地図をすごろくにしてはどうか、かるたに採用した足踏み水車を期間限定で水路に設置してはどうかというアイデアが生まれており、今後の活動につながっていきそうである。
 - 今回の事業を通してできたつながりをどう生かして広げていくかも課題である。また、今は存在していても何年かするとなくなってしまうものも予想されており、現にかるたに採用されている澤標の本も数年前の台風による増水で流れてなくなってしまう。そうした状況を考えると、今を記録・保存していく作業がこの活動の発展形として考えられるのではないと思う。地区別懇談会などの話し合いの中から、新たな活動を起こし、地域を超えた活動へとつながっていかばと考えている。



公民館 ひと・ひと・グループ

備前ブロック



「瀬戸町生きもの探偵団・里山の野鳥の観察」
にスタッフとして参加したメンバー

岡山市立瀬戸公民館

「瀬戸町ダルマガエルの会」

岡山市東区の旧瀬戸町内に生息する絶滅危惧種ダルマガエルの保護活動のため、地域の自然愛好家が集まり発足したのが「瀬戸町ダルマガエルの会」です。

現在は、公民館の事業にも参画し、町内に生息する野鳥や昆虫、天然記念物アユモドキやコウモリ、植物を観察する講座「瀬戸町生きもの探偵団」を年10回程度実施しています。昨年度は、活動で蓄積した観察記録を総括し、「瀬戸町生きもの探偵帳」を作成しました。

今後も、瀬戸町の豊かな自然や多様な生きものを地域の宝として未来へ引き継ぐ活動を続けていきたいと考えています。

備中ブロック



毎年、恒例の視察研修旅行

高梁市津川公民館

「津川歴史同好会」

地域の旧跡や伝承を、後世へ引き継ごうと平成12年に発足、活動しているのが「津川歴史同好会」です。これまでに、言い伝えや伝承をまとめた「津川むかし話」、地域の成り立ち、歴史や史跡文化をまとめた「津川の歴史探訪」を発刊しました。

講演会と視察研修を、津川歴史講座として開いています。昨年は大政奉還150年で、幕末維新期の地域の動きの講演と、玉島を視察。今年は、今注目されている「山田方谷の人間像」の講演と、津山城「備中櫓」を中心に視察研修を行いました。

美作ブロック



山登りの集合写真



鏡野町立中央公民館

「かがみの未来じゅく」

「かがみの未来じゅく」は、町内の小学生が自分たちの住んでいる町のことをもっとよく知って、ふるさとへの愛着を持って育ててもらふことを目的に活動しています。

近年の活動例としては県立森林公園での草木の観察、奥津湖カヌー体験、のとり原キャンプ場でのデイキャンプ、恩原スキー場での雪遊びなど、自然環境を存分に生かし「鏡野」でしか味わえないものばかりです。保護者の参加も多く、町の新たな魅力に気づき、家族まるごと鏡野町を好きになってくれることを期待しています。



まちからむらからフォトレター

瀬戸内市中央公民館



歴史探訪！瀬戸内わくわく発見！！「夢二と京都」

夢二のふるさと芸術交流プロジェクトの一環で「夢二コンクール」が創設されたのを機に、竹久夢二を学ぶ講座が開かれました。夢二が初めて個展を開き暮らした京都。現地でエピソードや見どころに触れ、想いをめぐらせました。

玉野市立図書館・中央公民館



「えほんにでてくるおかしをつくろう！」

昨年4月、ショッピングモール2Fに移転・開館した全国的にも珍しい図書館と公民館との融合施設で多彩な講座を開催中です。今回は、絵本の読み聞かせとあわせて、そこに出てくるケーキを実際に作る講座を開き、多く子どもたちと保護者の方々に楽しんでいただきました。

里庄町中央公民館



さとしやこうくぞう 「里庄虚空蔵大学生による清掃奉仕活動」

町内65歳以上の在住在勤者が集う高齢者学級「里庄虚空蔵大学」の生徒が、毎年6月に清掃奉仕活動を行っています。今年も100名近い参加者があり、日頃の感謝の気持ちを込めて、歴史民俗資料館周辺の草取りやゴミ拾いを行い、心地良い汗を流しました。

矢掛町山田公民館



「山田の“お茶め”なお菓子開発プロジェクト」

今年、中高生ボランティア[YMD隊]を中心に新たな活動がはじまりました。地域の宝として親しまれている山田小学校の茶畑で収穫した茶葉を材料にしたクッキーや金太郎飴などのお菓子を開発し、地域活性化に挑戦しています。

真庭市久世公民館



「ウィンタースクール at 久世公民館」

児童の長期休暇中の学習支援と居場所づくりを目的に開催しています。教員OBなどにボランティアとして協力をいただき、宿題の支援や科学実験などを行っており、キャンセル待ちが出る人気の行事となっています。

勝央町公民館



「勝央町カタルバ講座“公民館ロビー活用プロジェクト”」

自主学習ができる環境を公民館に。中高生がロビーのレイアウトを考え、(株)ナンバ NANBA女子DIY.CLUBの皆さんのご協力のもとロビーに設置する机等を手作りしました。中高生の手で公民館ロビーが新たな姿に生まれ変わりました。